



日本共産党 長崎市議会議員 中西あつのぶ市政報告 活動ニュース VOL. 10

何でも無料生活相談実施中

E-mail:nakanishi@jcp-n.com

携帯電話：090-4909-3530

LINE公式のチャットもご利用ください



LINE公式



X



@ATSUNOBU_NAKANISHI

ご意見、ご要望
お寄せください。



2月市議会

2月市議会(会期2月18日～3月12日)では、2026年度予算を審議しました。住民合意のない大型事業を優先するのではなく、暮らし・福祉・教育の充実を求める立場から、一般会計当初予算案(2,275億6千万円)に反対しました。一般会計予算の評価点と総務委員会での質疑を紹介します。

実現

インフルエンザ予防接種の助成対象が中学生まで拡大！

2026年度から、子どもへのインフルエンザ予防接種の助成が中学生まで対象になります。

昨年11月議会で中西市議が一般質問で取り上げ、「県内21市町で乳幼児までとしているのは長崎市のみ、子どもへの感染予防が社会全体のまん延防止につながる」と指摘し、新年度予算で対象年齢の拡大を求めた際、子ども部長が「子育てしやすい環境整備に有効」、「子どもの感染防止は意義がある」と答えていました。(図は、長崎市の議会説明資料より)

(1) 対象児童

【現行】生後6か月から小学校就学前までの乳幼児 **拡大** 【R8～】生後6か月から中学生までのこども

(2) 助成額

○注射ワクチン

1回あたりの接種委託料4,541円のうち、2,791円を助成 → 自己負担額1,750円

○経鼻ワクチン

1回あたりの接種委託料9,139円のうち、5,639円を助成 → 自己負担額3,500円

注射ワクチン

- ・生後6か月から接種可
- ・小学生まで2回接種
- ・中学生以上は1回接種

経鼻ワクチン

- ・2歳～18歳で接種可
- ・1回接種

(参考) 長崎県のインフルエンザ年代別患者報告数 (R8年第4週 (1月19日～1月25日))

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	608	372	42	53	45	24	11	5	8
報告割合(%)	52.1	31.8	3.6	4.5	3.9	2.1	0.9	0.4	0.7

※10歳未満及び10代の感染者数が多いことから、中学生までのこどもの接種を促進することで、社会全体のまん延防止にも効果的であると考えられる。



前進

来年1月から0歳児の医療費がゼロに

こども医療対策費

3,922万円

新

乳児の医療費無償化

こどもの医療費について、自己負担額が1日上限800円、ひと月上限1,600円で済むよう助成していますが、このうち乳児(0歳児)について自己負担額を無償化することで、これから育児を開始する子育て家庭の経済的負担を軽減するとともに、こどもを産み育てたいと考える市民の気持ちの後押しを図ります。

0歳児の医療費自己負担額を無償化

これまで

これから

1日上限 **800円**
ひと月上限 **1,600円**

1日上限 **0円**
ひと月上限 **0円**

子ども医療費が来年1月より乳児(0歳児)に限り、完全無償化されます。

子ども医療費の無償化は、11月議会で中西市議が一般質問で、「子ども医療費の完全無償化をしている自治体が1つもないのは全国で長崎県だけ、長崎市ができない理由はない」と1回800円の自己負担をなくすよう求めていました。

市は政策判断の根拠として「子どもを産み育てたいと考える市民の気持ちの後押し」を挙げています。中西市議は委員会討論において、少子化対策として取り組むべきは妊産婦医療費助成制度や周産期医療の確保だと強調。子ども医療費は0歳児に限らず無償にしていくべきです。

中部下水処理場跡地活用検討委員会が設置へ

長崎市はいま、平和公園（西地区）スポーツ施設再配置を進めています。県が整備する南北幹線道路（茂里町-滑石）のインターチェンジが市民総合プールにかかるため、プール跡地に多目的広場を、松山陸上競技場に総合プールと外周路・広場を、中部下水処理場跡地に陸上練習場（400mトラック）を移転する計画です。

2月議会では、中部下水処理場跡地の活用について調査審議する付属機関を設置する条例案が審議されました。



活用検討委員会は学識経験者やスポーツ関係団体、子育て関係団体、自治会、公募市民などから11人以内で構成し、今年12月までに3回開催する予定です。ワークショップが7月と9月の2度、行われます。

最終本会議で、中西市議は「検討委員会は市のスポーツ施設再配置方針の位置づけに基づくものであり、利用者をはじめ市民のなかに松山陸上競技場への総合プール移転に異議を唱える声は強くあるにもかかわらず、市の移設方針に従って検討を進めることは容認できない」と反対しました。（写真は本会議討論をする中西市議）

学校体育館 エアコン設置計画の策定へ

長崎市は今年度、学校体育館など指定避難所への空調設備整備に向けた計画を策定します。

まず避難所に指定されている学校体育館71施設で2027年度から29年度にかけて整備を行い、指定避難所となっていない学校体育館43施設については29年度から31年度までに完了するとしています。

学校体育館への空調設備の導入は、昨年6月議会・一般質問で中西市議が早期導入を求めたのに対して、教育長が「できるだけ早急に対応していく」と答弁していました。

あなたと県政・市政をつなぐ(オンライン)
市民アンケートにご協力ください。



4月から公共施設の使用料引き上げ 利用者が減ることは許されない

ふれあいセンターや公民館など公共施設の使用料がこの4月から値上げされました。

市民会館の卓球台利用料も2倍に。卓球利用者のみなさんが3月30日、長崎市に対して大幅値上げを緩和する措置を求める陳情書（賛同署名170人）を提出し、中西市議も同席しました。

総務委員会で、中西市議は「市民から使用料見直しに対して、『納得がいかない』、『使用回数を少なくするしかない』との声が多数寄せられている。今回の料金改定で利用者が減ることはあってはならない」と指摘、利用者から寄せられる声を踏まえた対応をするよう求めました。

スポーツ振興課長は「指定管理者からも利用者が減る懸念が出されている。市民サービスを向上させる取り組みを指定管理者と連携してすすめ、利用者が減らないように実施していきたい」と応じました。